



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	285,125	1.8	20,822	△21.8	23,290	△16.3	16,306	△5.6
23年3月期第3四半期	279,982	0.5	26,622	10.0	27,811	△2.1	17,271	△3.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 10,893百万円 (△2.8%) 23年3月期第3四半期 11,202百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	147.66	147.33
23年3月期第3四半期	156.08	155.87

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	409,045	278,959	66.7
23年3月期	409,748	277,595	66.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 272,780百万円 23年3月期 271,654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
24年3月期	—	40.00	—		
24年3月期(予想)				35.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の中間配当金には、「カップヌードル発売40周年記念配当」5円を含んでおります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	5.4	26,000	△24.7	28,000	△23.1	21,000	1.2	190.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	117,463,685 株	23年3月期	117,463,685 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	7,291,367 株	23年3月期	6,795,554 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	110,432,219 株	23年3月期3Q	110,664,516 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想に関する定性的情報)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかに持ち直しつつありますが、電力供給の制約や原子力発電所の災害による影響、欧州政府債務危機などを背景とした円高の影響等により、依然として厳しい状況にあります。

当社グループの中核事業である国内の即席めん業界は、一時的に震災による需要増もあり、売上は増加しましたが、夏以降、競合各社の積極的な新商品投入や特売実施に伴い、収益は低下傾向となりました。一方、海外では、小麦粉、パーム油を中心とした世界的な原材料価格の高騰が大きく影響し、収益を圧迫しました。

このような経営環境の下、当社は、多様化する消費者ニーズに対応するため、グループの強みである技術力を活かした商品開発を行うとともに、一層のブランド価値向上に努めました。

この結果、当社の第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.8%増の2,851億25百万円となりました。利益面においては、前年度に比べ退職給付費用等が増加したことにより、営業利益は、前年同期比21.8%減の208億22百万円、経常利益は前年同期比16.3%減の232億90百万円、当四半期純利益は、前年同期比5.6%減の163億6百万円となりました。

#### <連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成23年3月期	平成24年3月期	対前年同期比	
	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	金額	%
売上高	279,982	285,125	+5,142	+1.8
営業利益	26,622	20,822	△5,800	△21.8
経常利益	27,811	23,290	△4,520	△16.3
四半期純利益	17,271	16,306	△965	△5.6

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

#### ①日清食品

当第3四半期累計期間の販売状況は、袋めん類が減少したものの、発売40周年を迎えた「カップヌードル」や、「日清のどん兵衛」をはじめとするカップめん類は好調に推移しました。また、7月より全国発売を開始した「カップヌードルごはん」に続き、11月に発売を開始した「カップヌードルごはん シーフード」も売上高増に大きく貢献しました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比1.9%増の1,484億5百万円となり、セグメント利益は、前年同期比3.0%減の160億36百万円となりました。

#### ②明星食品

当第3四半期累計期間の販売状況は、袋めん類は上半期に引続き「明星 チャルメラ」シリーズや「明星 中華三昧」などが堅調に推移し、特に9月から発売した「明星 チャルメラちゃんぽん」は、売上高増に貢献しました。一方、カップめん類は、「明星 チャルメラカップ」が好調に推移しましたが、「評判屋」シリーズなどオープンプライス市場の競争激化による売上減少により、全体では、前年に比べ微減となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比1.3%減の312億91百万円となり、セグメント利益は、広告宣伝費の抑制により、前年同期比22.8%増の22億28百万円となりました。

#### ③低温事業

当第3四半期累計期間の低温事業について、日清食品チルド(株)の販売状況は、「行列のできる店のラーメン」シリーズや、「日清のチャンボン」が好調に推移するほか、ご当地グルメを商品化した「ひるぜん風焼そば」なども人気を博しました。

日清食品冷凍(株)の販売状況は、上半期に引続き中価格帯の「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズが主に売上を牽引するとともに、もちっとした食感が特徴の「冷凍 日清もちっと生パスタ」や、高価格帯商品の「冷凍 日清スパ王シェフズプレミアム」シリーズなども好調な売れ行きとなりました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比4.4%増の407億81百万円となり、セグメント利益は、前年同期比26.7%減の14億96百万円となりました。

#### ④米州地域

米州地域の販売状況は、米国において「Top Ramen」「Cup Noodles」が堅調に推移、「Bowl Noodles」も好調な売れ行きとなり、売上増に貢献しましたが、為替の影響もあり、地域全体として減収となりました。利益面についても、小麦粉等原材料高騰の影響により、減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比8.0%減の181億74百万円となり、セグメント利益は、前年同期比14億35百万円減の3億75百万円の損失となりました。

#### ⑤中国地域

中国地域の販売状況は、為替の影響があったものの、「合味道」「開杯楽」等のカップめんの販売が好調に推移し、増収となりました。一方、利益面においては、原材料価格の高騰によるコスト増により、減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比2.2%増の140億15百万円となり、セグメント利益は、前年同期比33.0%減の6億78百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントについて、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比7.6%増の324億57百万円となり、セグメント利益は前年同期比1.2%減の16億12百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

##### (資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ7億3百万円減少し、4,090億45百万円となりました。これは主に現金及び預金や売上債権等の増加により流動資産が37億89百万円増加する一方、投資有価証券の減少により固定資産が44億92百万円減少したことによるものです。

##### (負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ20億67百万円減少し、1,300億86百万円となりました。これは主に支払債務等の増加等により流動負債が61億48百万円増加する一方、退職給付引当金等の減少により固定負債が82億15百万円減少したことによるものです。

##### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億64百万円増加し、2,789億59百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の減少及び利益剰余金の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は66.7%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、自己株式の取得により1株当たり当期純利益は変更しておりますが、その他の業績予想数値は、平成23年5月11日に発表しました通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,651	63,026
受取手形及び売掛金	47,125	53,124
有価証券	16,841	5,261
商品及び製品	6,845	10,208
原材料及び貯蔵品	7,448	7,873
その他	9,460	8,691
貸倒引当金	△246	△270
流動資産合計	144,127	147,916
固定資産		
有形固定資産		
土地	49,542	48,228
その他（純額）	76,339	78,375
有形固定資産合計	125,882	126,603
無形固定資産		
のれん	3,399	2,836
その他	1,065	1,021
無形固定資産合計	4,465	3,857
投資その他の資産		
投資有価証券	115,927	111,774
その他	19,693	19,226
貸倒引当金	△346	△332
投資その他の資産合計	135,274	130,667
固定資産合計	265,621	261,129
資産合計	409,748	409,045
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,422	48,285
短期借入金	1,692	1,483
未払金	19,676	21,407
未払法人税等	7,268	8,015
その他	17,595	14,612
流動負債合計	87,655	93,803
固定負債		
長期借入金	12,980	12,837
退職給付引当金	16,318	9,525
その他	15,199	13,919
固定負債合計	44,498	36,282
負債合計	132,153	130,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	236,831	244,856
自己株式	△20,393	△21,856
株主資本合計	289,976	296,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	△657
土地再評価差額金	△7,649	△7,227
為替換算調整勘定	△11,053	△15,873
その他の包括利益累計額合計	△18,322	△23,758
新株予約権	428	659
少数株主持分	5,512	5,519
純資産合計	277,595	278,959
負債純資産合計	409,748	409,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	279,982	285,125
売上原価	150,735	159,843
売上総利益	129,246	125,281
販売費及び一般管理費	102,624	104,459
営業利益	26,622	20,822
営業外収益		
受取利息	658	590
受取配当金	1,515	1,553
持分法による投資利益	1,258	947
その他	397	458
営業外収益合計	3,829	3,550
営業外費用		
支払利息	167	173
為替差損	2,153	654
その他	320	255
営業外費用合計	2,641	1,082
経常利益	27,811	23,290
特別利益		
固定資産売却益	13	156
投資有価証券売却益	848	—
厚生年金基金代行返上益	—	5,410
その他	93	0
特別利益合計	954	5,566
特別損失		
固定資産売却損	2	338
固定資産廃棄損	101	160
投資有価証券評価損	169	300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67	—
その他	41	163
特別損失合計	381	963
税金等調整前四半期純利益	28,384	27,894
法人税等	10,817	11,414
少数株主損益調整前四半期純利益	17,567	16,480
少数株主利益	295	173
四半期純利益	17,271	16,306

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,567	16,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,941	△1,036
土地再評価差額金	—	421
為替換算調整勘定	△2,517	△2,001
持分法適用会社に対する持分相当額	△906	△2,971
その他の包括利益合計	△6,364	△5,586
四半期包括利益	11,202	10,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,144	10,870
少数株主に係る四半期包括利益	58	23

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	145,567	31,710	39,075	19,745	13,717	249,816	30,166	279,982	—	279,982
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	625	876	393	—	159	2,054	11,226	13,280	△13,280	—
計	146,192	32,587	39,468	19,745	13,876	251,870	41,392	293,263	△13,280	279,982
セグメント利益	16,536	1,813	2,041	1,060	1,013	22,465	1,632	24,098	2,524	26,622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,524百万円には、退職給付関係費用3,013百万円、のれんの償却額△562百万円、セグメント間取引消去等73百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	148,405	31,291	40,781	18,174	14,015	252,667	32,457	285,125	—	285,125
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	265	841	439	—	58	1,605	12,262	13,868	△13,868	—
計	148,671	32,133	41,221	18,174	14,073	254,273	44,720	298,993	△13,868	285,125
セグメント利益 又は損失 (△)	16,036	2,228	1,496	△375	678	20,064	1,612	21,676	△854	20,822

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△854百万円には、退職給付関係費用△299百万円、のれんの償却額△562百万円、セグメント間取引消去等7百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。